

今年度の研究計画

学校教育目標

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

～ 知力・心力・体力を鍛え、求めて学ぶ生徒 ～

- ・「確かな学力」(知力) ～ 学び合う力の根源にある認知的な共感を抱くことができる力
- ・「豊かな心」(心力) ～ 自分の意志と責任で判断し行動する力の源である自立心や、他者の痛みや感動などの心情を共感できる力。

本校生徒のよさと可能性

明るく素直な気質で、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い。生徒会活動や行事などで目標に向かう時の集中力、団結力は特に優れているが、反面、持続性や耐性を必要とする地道な活動等については、やや粘り強さに欠ける傾向が見られる。

学習面では、新たな知識を吸収しようとする好奇心が旺盛である。体験をともなったり他者と関わったりする学習には特に意欲がある。学習に必要な感や楽しさを見出している生徒は多いものの、主体的に課題解決に取り組む力は弱い。また、諸調査の結果から、学力の定着に二極化が見られ、中でも記述式問題の正答率が低いことから、文章の読解力や表現力が十分に育っていないことが課題として挙げられる。その解決のためには、授業改善を基に共感的に学ぶ集団の育成、学力向上の土台となる学び方の習得や質の高い学習習慣の形成が必要であり、急務であると考えます。

目指す生徒の姿

- ① 学習課題を自分のものとして受け止め、主体的に学んでいく生徒。
- ② 他者の考えに触れ、伝え合ったり議論したりしながら対話的に学んでいく生徒。
- ③ 「わかる・できる」ことを自分の言葉で表現し、学びを「いかし」広げ深められる生徒。

研究主題

主体的に学び、共に深め合う生徒の育成

～ 生徒一人一人が「わかる・できる・いかす」を実感できる授業を目指して ～

1 研究主題について

本校では、授業実践を重ねることにより、生徒同士が学び合いを通して共に育つことを成果として確認した。そこで、学びの質を高めるためには、生徒が「主体的に学習活動に臨むことで、生き方や考え方などに新たな価値を見いだせる」指導が重要であると考えます。そして、生徒同士が対話を通して「深め合う」学びであることも肝要である。

また、生徒一人一人が課題を自分のものとして捉え、「わかった・できた」を実感できる授業、学んだことが「いきた(いかせた)」ことを実感できる授業を目指していく。

2 研究仮説

他者と関わり合いながら主体的に課題解決に取り組み、「わかる・できる・いかす」を実感することにより、読解力や表現力が育まれ、自分の考えを広げ深めることができるであろう。

3 研究の重点と内容

重点① 生徒から多様な考えを引き出し、主体的な学びを促す学習課題の設定と工夫

＜共通実践事項＞

わかる・できる



いかす

- ① 生徒の実態に即した、解決の必然性がある学習課題を設定する。
 - ② 問いを引き出す課題の提示方法を工夫する。
 - ③ 授業や単元のゴールを確認し、学習の見通しをもたせる。
 - ④ 学習意欲が持続し、粘り強く取り組もうとする意欲を高める教材・教具を工夫する。
-
- ① 導入の段階で既習内容(他教科や領域を含む)や前時の生徒の振り返りをいかす。
 - ② 日常生活や社会生活を想定し、自分のものとして捉える学習課題を設定する。

重点② 生徒の読解力を育むための手立て

＜共通実践事項＞

わかる・できる



いかす

- ① 相手の考えを正しく理解したり、自分の考えを分かりやすく説明したりする学習活動を設定する。
 - ② 正しく読み、内容をつかむ力を養うドリル学習を週一回実施し、継続する。
 - ③ 市松模様の4人グループ、及び、コの字型の座席配置を基本の学習形態とし、主体的で対話的な学びを支える基盤づくりをする。
-
- ① 各教科ごとに「読解力」を整理し、それを踏まえて指導方法の工夫改善を図る。
 - ② 特別活動や総合的な学習、学校の様々な取り組みの中で各教科で学んだことがいかせるよう、年間計画を改善する。

4 研究の方法

各教科・領域の特性を生かし、同僚性の構築を目指した授業実践を行う。

- ① 一人一研究授業を実施し、教科の枠を超えて実践を学び合う。
 - ・ 研究の視点、教科、領域の主題に則った授業実践
 - ・ 教科領域部会における相互協力で主題に迫る授業研究や協議会の実施
- ② 生徒が自信をもち自己有用感をもつことができる指導を推進する。
- ③ P D C Aサイクルを意識した研究を推進する。

5 研究の検証

P D C Aサイクルをベースに、授業で見取った生徒の姿や振り返りとともに、諸調査や検査等の客観的なデータを精査し総合的に検証する。また、一人一研究授業を通し授業公開・協議会を定期的・継続的に実施し、そこで得られた指導・助言を生かすように努める。

6 研究・研修計画

	校内研究・研修等	校外研修・諸講習・諸講座
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の研究について（生徒の学習状況の課題の把握、研究計画の作成、組織づくり） ○教科・領域・総合・学年部会 ○休校措置に伴う未履修内容の補充学習 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○学年・学級・各教科等経営案の作成 ○各教科・領域等年間指導計画の作成 ○一人一研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理指導者研修会 ・初任者研修講座Ⅰ ・確かな学力向上推進会議Ⅰ ・新任研究主任研修講座 ・新任教頭研修講座 ・新任教務研修講座 ・実践的指導力習得研修Ⅰ
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uテスト概要の理解・実施 ○一人一研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進研修講座 ・初任者研修講座Ⅱ
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究会①（技術家庭、数学） ○授業改善のためのアンケートⅠ実施 ○一人一研究授業 ○教科・学年部会（夏休みの課題等） ○休校措置に伴う未履修内容の補充学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙教研大会 ・秋田県生徒指導推進会議 ・「性に関する指導」指導者研修会 ・科学的に探求する中学校理科の授業作り ・交通安全指導者研修会 ・初任者研修講座Ⅲ ・道徳教育推進研修講座
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳に関する研修会 ○各教科のPDC Aの見直し ○通知表の記入等について 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座Ⅳ ・教育課程説明会 （数学、美術、保健体育、技術、外国語） ・特別支援コーディネーター地区別研修会 ・実践的指導力習得研修Ⅱ ・教職5年目研修講座Ⅰ
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座Ⅴ ・社会の変化に対応した技術・家庭の授業 ・英語担当教員授業力向上実践研修
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一研究授業 ○Q-Uテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座Ⅵ ・教職5年目研修講座Ⅱ ・キャリア教育実践研究協議会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一研究授業 ○教科ごとにPDC Aの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座Ⅶ ・新任研究主任研修講座 ・生活安全指導者研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究会（道徳、生徒指導支援加配・外国語） ○学習状況調査の実施と採点 ○一人一研究授業 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○学習状況調査の分析 ○授業改善のためのアンケートⅡ実施 ○一人一研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座Ⅷ ・確かな学力向上推進会議Ⅱ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の研究のまとめ（全国学テに向けて） ○一人一研究授業 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○教科部会・領域部会（引き継ぎ） 	